

## 全国学力・学習状況調査(H30.4.17)の結果をお知らせします。

**調査の目的** (参照：文部科学省HP) [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm)

◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

### 調査対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

### 調査内容

#### ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

主として「知識」に関する問題 (A)

・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容

・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

主として「活用」に関する問題 (B)

・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力

・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など  
理科は「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体で扱う問題

#### ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

(例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況 など

・学校に対する調査 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、家庭・地域との連携の状況 など

### 時間割 ◎中学校

国語A (45分) 国語B (45分) 数学A (45分) 数学B (45分) 理科 (45分) 生徒質問紙

## 調査結果から明らかになった課題

**【国語】 A問題、B問題ともに全国と同程度でしたが以下のような課題がみられます。**

- ・「せきを切ったように話し始める」という慣用表現が理解できていませんでした。同様に「心をうたれた」の意味は正しく理解できているのに誰のどのようなことに「心をうたれた」のかわかるように作文することができませんでした。言葉を辞書で確認するだけでなく実際の話や文章の中で使用するようにすることと語順や語の照応などを整え、伝えたいことを適切に伝えられるように文章を吟味するように指導することが大切になります。
- ・B問題では、「天地無用」という言葉を誤った意味で理解している人がいる理由を文章中から読み取って書くという問題だが、正答率は全国を上回ったものの非常に低かったです。
- ・同じくB問題で、「ロボットに期待すること」とした発表のまとめにあたって進め方の適切なものを選ぶ問題がかなり低かったです。プレゼンテーションなどでは、全体と部分との関係に注意して話すことと、相手の反応を見ながら話すことが大切であることを指導する必要があります。
- ・事実と意見を読みわけ、文章の論理展開や構成を捉えて内容を理解できるように指導することと読み取ったことをまとめて端的に表現することができるようにする必要があります。

**【数学】 Aは少し全国を下回り、B問題は全国と同程度でした。以下のような課題がみられます。**

- ・数と式領域では、等式、不等式や不等号の意味理解が不十分でした。「以上」と「より大きい」、「以下」と「未満」と「より小さい」などの日本語と数式を比較しながら指導する必要があります。
- ・図形領域では、角の二等分線の特徴が理解できていませんでした。移動の種類や回転の中心などの知識も正しく理解できていませんでした。三角形の外角の性質、三角形の合同条件が理解できていないなど例年同様に図形領域に多くの課題が見られました。指導に折り紙を使う、視覚的に捉えさせる、自分で描かせて体感させるなどの工夫が必要になります。
- ・関数領域では、座標の理解が不十分でした。実際に座標をグラフ上で点にする等意味な学習が必要です。
- ・資料の活用領域では、統計の用語を正しく理解できていませんでした。実際のデータを使って自分なりに分析するなどの活動を行う必要があります。
- ・B問題の数と式では、数の概念について文字を使って表現させるなどの指導とともになぜそのように表現するのか理由を明確に理解させることも必要になります。

**【理科】 全国平均とほぼ同じでしたが以下のような課題がみられます。**

- ・地学領域の「台風を科学的に探求する」では、台風の風向きの予想が全国平均より低く、太平洋高気圧の特徴についても低かったです。日常生活でもよく接する情報・知識であるので観測者の視点に立ち観測地点の気象現象を空間的に捉えられるようにするなどが大切になります。
- ・生物領域の「刺激と反応を科学的に探求する」では、目と脳の間にある神経を答える問題の正答率が高く神経系の基本的な知識理解は進んでいました。同様に地震の強さを表すのは「震度」であるという知識を問う問題でも高く、地震に関する基本的な知識理解はできていました。
- ・生物・地学領域の「蒸散を科学的に探求する」で蒸散以外の原因を推測する問題はよくできていました。実験において変化することと原因として考えられることの全てを挙げてそれらの妥当性を一つひとつ検討することが必要になります。

# 授業改善の方策について

## 【全ての授業に共通すること】

- ・その授業における「めあて」を明確にし、「振り返り」を行うことでその授業で何を学んだか、何ができるようになったかを確認できるようにします。
- ・個人思考の時間を確保することで、生徒に課題に対する自分自身の考えを持たせるようにします。そのことによって、その後の集団思考が深まり、仲間の考えを聞くことで自分自身の考えを深めさせます。
- ・教師が説明する場面より生徒が説明する場面を多く設定するようにします。説明を聞く生徒も意識が高くなるとともに説明する生徒にも力がつきます。

## 【国語の授業】

- ・辞書等を活用して慣用表現の意味理解を促します。併せて、慣用表現を使う場面を想定した作文指導や実際の発言、発話の中で使用する機会を増やします。
- ・文章の内容理解だけでなく、文章の論理展開や構成及び接続表現に着目した構造的な読解力を高めるような授業展開を進めます。
- ・発表の際には、伝える内容だけでなくどの順番で話すのかという構成面も意識できるような指導を行います。併せて、コミュニケーションとしての発表という観点に立ち、聞き手の反応を見ながら話せる力を身につけさせるようにします。
- ・読み取った情報の要点を整理したうえで分かりやすくまとめて端的に表現したり、表現したものを伝え合ったりする取組をすすめます。

## 【数学の授業】

- ・情報機器(ICT)を効果的に使用することで視覚的に課題に関する興味を持たせます。
- ・立体模型を実際に手にとらせる等して空間図形の学習を効果的に進めます。
- ・証明を行う際、空所補充の形式は極力避けます。順序だてて論述することを可能な限り自分の力でさせます。

## 【理科の授業】

- ・何種類かの図を比較して思考する練習を取り入れていきます。その際、ICT 機器などを利用し思考を促すようにします。
- ・実験を計画するとともに実験の結果をもとに新たな疑問を持ち、その疑問解決のための実験を考えたりする練習を取り入れます。
- ・グループやペアでの活動を取り入れ疑問解決のために自ら調べたり話し合ったりする学習を取り入れます。話し合いをする前に自分の考えを書く習慣をつけさせます。
- ・計算問題や化学式など知識が定着していない学習内容の復習を促し、場合によっては補充学習を行います。

# 生徒質問紙調査結果から

<p>自分には、良いところがあると思いますか</p> <p>当てはまる 49%</p> <p>どちらかと言えば、当てはまる 40%</p> <p>どちらかと言えば、当てはまらない 9%</p> <p>当てはまらない 2%</p> <p>その他 0%</p>	<p>当てはまる、どちらかといえば当てはまるが全国を10.2%上回っており、自尊感情は高くなっている。</p>	<p>将来の夢や目標を持っていますか</p> <p>当てはまる 44%</p> <p>どちらかと言えば、当てはまる 28%</p> <p>どちらかと言えば、当てはまらない 19%</p> <p>当てはまらない 9%</p> <p>その他 0%</p>	<p>当てはまる、どちらかといえば当てはまるが72.4%で全国と全く同じであり県平均も1.8%上回っている</p>
<p>家で、学校の授業の予習・復習をしていますか</p> <p>どちらかといえば、している 26%</p> <p>あまりしていない 43%</p> <p>全くない 22%</p> <p>している 9%</p> <p>その他 0%</p>	<p>している、どちらかといえばしているが35%で全国を20.2%下回っている。全くないも22%ある。</p>	<p>学校の授業以外に、普段(月～金)に1日当たりどれくらいの時間勉強しますか(塾を含む)</p> <p>1時間以上2時間まで 34%</p> <p>30分以上1時間まで 23%</p> <p>30分より少ない 20%</p> <p>2時間以上3時間まで 13%</p> <p>3時間以上 2%</p> <p>全くしない 8%</p>	<p>1時間以上が48.4%で全国を22.2%下回っている。全くしないも全国を3.7%上回っており課題である。</p>
<p>普段(月～金)に1日あたりどれくらいの時間、読書しますか</p> <p>10分以上30分まで 21%</p> <p>30分以上1時間まで 15%</p> <p>1時間以上2時間まで 12%</p> <p>10分より少ない 9%</p> <p>全くしない 36%</p> <p>2時間以上 7%</p>	<p>30分以上する割合は全国を2.8%上回り、1時間以上でも4.2%上回っている。全くしないが36%あり課題である。</p>	<p>家で自分で計画を立てて勉強していますか</p> <p>どちらかと言えば、している 35%</p> <p>全くない 20%</p> <p>している 8%</p> <p>どちらかと言えば、していない 37%</p>	<p>している、どちらかといえばしているが42%で全国を10%下回っている。全くないも20%あり課題である。</p>